

「第4回 たばこ火災被害の低減対策に関する検討会」資料

『経過』に着目した注意喚起広報の強化施策

～たばこ火災防止キャンペーンについて～

(一社)日本たばこ協会
全国消防長会

平成25年9月3日

目次

1.これまでの取り組み

2.2012年度施策概要

- ① ポスターキャンペーン
- ② 啓発イベント
- ③ 交通広告

3.今後の取り組み

- ① 施策の方向性
- ② 2013年度施策(案) 継続施策
- ③ スポット施策の検討

1.これまでの取り組み

■ 「たばこ火災被害の低減に関する協議会」における議論を踏まえ、たばこ関連火災予防における「経過」に着目した注意喚起広報を強化

■ 2011年度よりたばこ火災防止キャンペーンを開始

➢ 消防署・町内掲示板・駅・たばこ販売店頭におけるポスター・ステッカーキャンペーン

✓ 5月 : 東京消防庁 / 大阪市消防局管内 4.3万枚

✓ 11月 : 全国の消防機関 15万枚

: 全国のたばこ販売店 18万枚 (+スウィングPOP4万枚)

➢ ポケットティッシュを利用した啓発イベント

✓ 11月 : 全国の消防機関 69.8万個



ポケットティッシュ配付風景



ポスター貼付風景



2. 2012年度施策

① ポスターキャンペーン

全国の消防署・町内会掲示板・駅などの
公共施設等に掲出

➤ 数量および配付先

作成数量 188,751枚

配送先 890ヶ所

ポスター(B2/A3/A4)



ポスター貼付風景



2. 2012年度施策

② 啓発イベント

秋の火災予防週間だけでなく、春にも提供

➤ 数量/配布先

秋の火災予防週間 781,540個

春の火災予防週間 700,825個

配送先 890ヶ所

ポケットティッシュ



啓発イベント風景



2. 2012年度施策

③ 交通広告

非喫煙者を含めた広範な認知を獲得することで、周囲の気付きによる火災予防を企図

➤ 広告路線

関東/大阪/名古屋の主要路線

13電鉄87路線にて展開



電車内広告風景

ドア上ツインステッカー(左)



ドア上ツインステッカー(右)



銀座/丸ノ内線ドア上




駅広告風景

3. 今後の取組み

① 施策の方向性

- ポスター等のマス施策により、一定の注意喚起に寄与も、
- より直接的にたばこ火災を低減するためには、火災実態に応じたきめ細かな取組みが必要か

- 
- ポスターキャンペーン・啓発イベントによる注意喚起を維持しつつ、
 - たばこ火災発生に特有な傾向を捉えたスポット施策を検討

3. 今後の取組み

② 2013年度施策(案) 継続施策

「秋の火災予防週間」ポスターキャンペーン並びに啓発イベント

- “ヒケシ”を踏襲しつつ、『寝る前の消火』にフォーカス
- 2012年度同様、全国の消防機関・町内会掲示板で展開
 - ◆ ポスター 18万枚程度
 - ◆ ポケットティッシュ 150万個程度

ポスターイメージ



3. 今後の取組み

③ スポット施策の検討

消防機関との更なる連携強化によるたばこ火災に特有な傾向の把握

- **時間帯・住環境(ふとん、紙くず)・属性(高齢・障害・飲酒)等**

特有傾向を踏まえたスポット施策の検討・実施